

## 県西地域大学連携事業について

### 1 目的

大学が持つ専門的な知見と若者（学生）の視点を活かし、地域と連携して、「未病を改善する」取組みの促進に繋がる新たな事業を展開することで、更なるプロジェクトの推進を図る。

### 2 事業実施状況

9大学から10事業の提案があり、うち3事業を採択した。

#### < 採択事業一覧 >

大学名	事業名	実施結果
小田原短期大学	乳幼児から始める未病に関するアプローチ～保育と食育を通じた地方創生～	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食生活がおろそかになりがち子育て中の働き盛りの家庭を対象に、簡単で栄養価の高い料理の調理体験や子育てに係るセミナーを、9月～11月に3回開催（延べ31組参加）。</li> <li>・食育活動として、2月に小田原市立前羽幼稚園にて、「丸ごとたべよう」をテーマにペープサート（人形劇）を実施。</li> </ul>
東海大学	「未病に係わる観光体験」の情報発信	<ul style="list-style-type: none"> <li>・未病の認知度の向上のため、「未病いやしの里の駅」で、食や運動、癒しなどを学生が体験し、その様子の動画を33本作成し、8月からYoutubeで発信。2月からは、かなチャンTVでも配信。</li> <li>・12月18日には、学生がお薦めする「未病いやしの里の駅」を巡るモニターツアーを実施。</li> </ul>
横浜薬科大学	県西地区の農産物を素材とした「薬食同源」による県西オリジナル未病対策の構築	<ul style="list-style-type: none"> <li>・柑橘類（主に湘南ゴールド）の果皮に含まれるロコモ症候群等の高齢者特有疾患に効果が期待される有効成分の機能性を実証するため、果皮の粉末の加工方法や商品化に向けた課題を整理するとともに、特別養護老人ホームの入所者を対象にした臨床試験を実施（2月6日～3月5日）。</li> <li>・高校生やその保護者を対象にした未病を改善するための普及啓発講演を、小田原総合ビジネス高等学校で実施（12月13日）。</li> </ul>